



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス 上場取引所 東
 コード番号 3177 URL http://www.arigatou-s.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井本 雅之
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)平川 俊之 (TEL) (0898) 23-2243
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,047	8.4	128	1.3	129	3.0	86	26.4
27年2月期第1四半期	1,889	3.2	126	23.2	125	27.5	68	32.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	91.64	—
27年2月期第1四半期	71.83	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第1四半期	3,782	1,515	40.1
27年2月期	3,839	1,504	39.2

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 1,515 百万円 27年2月期 1,504 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	82.00	82.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	88.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,983	6.7	203	△6.8	195	△9.3	105	△6.0	111.78
通期	8,100	6.1	511	3.1	496	0.7	260	1.0	275.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期1Q	953,600株	27年2月期	953,600株
28年2月期1Q	8,799株	27年2月期	8,799株
28年2月期1Q	944,801株	27年2月期1Q	953,365株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、追加金融緩和に伴う円安・株高、緊急経済対策などの財政支援、さらには昨秋からの原油安の恩恵を受け、当年度においても成長基調が続いております。特に、設備投資と個人消費については、企業収益および雇用・所得環境の良化に伴い底堅い推移が見込まれます。しかしながら、中国経済の減速、資源国の不安定化等の海外経済の影響の懸念などにより、先行き不透明な状況は今なお継続しております。

こうした状況のもとで、当社におきましては、人材の育成と既存店のさらなる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第1四半期累計期間は、3月に店舗賃貸借契約期間の満了によりモスバーガー高知大橋通り店（高知県）を閉店致しました。この結果、当社の店舗数はリユース事業80店舗、フードサービス事業33店舗、合計113店舗となりました。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,047,180千円（対前年同四半期比8.4%増）、営業利益128,304千円（同1.3%増）、経常利益129,022千円（同3.0%増）、四半期純利益86,577千円（同26.4%増）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

(リユース事業)

当第1四半期累計期間におきましては、物流センター3拠点を本格的に稼働させ、これまで廃棄物として処分していた商品を、ニーズのある東南アジアへの輸出販売を行える体制を確立することで、これまで以上に積極的な買取りを行い、どんなものでも買い取って引き取ってもらえるという店舗の信用力、ブランド力の向上及び良品在庫の増大に努めてまいりました。また、買い取った商品を即座に売場に出して機会損失を減らすとともに、お客様目線の売場づくりを進め、売上高の増加に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,434,284千円（対前年同四半期比10.2%増）、セグメント利益（営業利益）181,742千円（同5.7%増）となりました。

(フードサービス事業)

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては原材料費の高騰に対応すべく仕入先の見直しや原価率の管理に努め、その影響を最小限に食い止める努力を重ねてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高612,896千円（対前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）34,868千円（同8.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて79,604千円減少し、1,693,081千円となりました。現金及び預金が160,162千円減少、売掛金が39,626千円増加、商品が60,634千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて22,649千円増加し、2,086,564千円となりました。投資その他の資産が23,290千円増加したことが主な要因であります。

繰延資産は、前事業年度末に比べて459千円減少し、2,645千円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて57,413千円減少し、3,782,292千円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて131,029千円減少し、902,157千円となりました。未払法人税等が109,814千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて62,685千円増加し、1,364,717千円となりました。社債が33,000千円減少、長期借入金100,786千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて68,343千円減少し、2,266,874千円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて10,929千円増加し、1,515,417千円となりました。利益剰余金が9,104千円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月13日に公表しました「平成27年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,402	498,239
売掛金	53,467	93,094
商品	900,205	960,840
貯蔵品	4,132	4,234
その他	157,315	137,922
貸倒引当金	△837	△1,250
流動資産合計	1,772,686	1,693,081
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,016	977,809
その他(純額)	354,198	364,169
有形固定資産合計	1,342,215	1,341,978
無形固定資産	11,583	11,179
投資その他の資産		
差入保証金	443,948	461,207
その他	271,109	277,305
貸倒引当金	△4,942	△5,106
投資その他の資産合計	710,115	733,406
固定資産合計	2,063,914	2,086,564
繰延資産	3,105	2,645
資産合計	3,839,706	3,782,292
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,509	105,775
1年内返済予定の長期借入金	260,744	284,201
1年内償還予定の社債	120,000	96,000
未払法人税等	150,455	40,641
その他	416,477	375,539
流動負債合計	1,033,186	902,157
固定負債		
社債	281,000	248,000
長期借入金	402,206	502,992
退職給付引当金	2,280	2,504
役員退職慰労引当金	44,458	47,489
資産除去債務	378,030	379,501
その他	194,056	184,230
固定負債合計	1,302,031	1,364,717
負債合計	2,335,218	2,266,874

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	900,616	909,720
自己株式	△17,041	△17,041
株主資本合計	1,494,589	1,503,693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,898	11,723
評価・換算差額等合計	9,898	11,723
純資産合計	1,504,487	1,515,417
負債純資産合計	3,839,706	3,782,292

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,889,316	2,047,180
売上原価	621,608	680,522
売上総利益	1,267,707	1,366,657
販売費及び一般管理費	1,140,995	1,238,353
営業利益	126,712	128,304
営業外収益		
受取利息	219	202
受取配当金	66	72
不動産賃貸料	7,614	7,506
その他	6,950	6,834
営業外収益合計	14,850	14,617
営業外費用		
支払利息	5,303	4,032
社債利息	1,321	899
不動産賃貸原価	8,506	8,424
その他	1,186	543
営業外費用合計	16,317	13,899
経常利益	125,245	129,022
特別損失		
固定資産除却損	-	6
特別損失合計	-	6
税引前四半期純利益	125,245	129,016
法人税、住民税及び事業税	50,885	35,699
法人税等調整額	5,880	6,738
法人税等合計	56,765	42,438
四半期純利益	68,480	86,577

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	71,502	75	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 定時株主総会	普通株式	77,473	82	平成27年2月28日	平成27年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,302,013	587,302	1,889,316	—	1,889,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,302,013	587,302	1,889,316	—	1,889,316
セグメント利益	171,887	32,280	204,167	△77,455	126,712

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,434,284	612,896	2,047,180	—	2,047,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,434,284	612,896	2,047,180	—	2,047,180
セグメント利益	181,742	34,868	216,611	△88,307	128,304

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。